

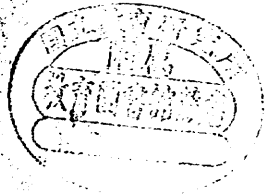


K120.71

32.6

3.上

一月年始の文



三上ノ一

祝納全家賑新年尚

不相替怨情程御慶

立入る年々女の

活よりる色あきとせり

祝の心を助る以ま

山王の様に清持る也

娘の髪新巻より

昔の髪より新巻より

車  
の  
外  
の  
易  
今  
年  
も  
お  
替  
り

ら  
の  
お  
替  
り  
の  
お  
替  
り

先  
是  
正  
月  
元  
節  
也

二月  
元  
節



寒堪薰日柄弄等閒

遊暮誘合立寄待上

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, written vertically within a rectangular frame.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, written vertically within a rectangular frame.

明  
白  
紀  
元  
年  
子  
年  
卯

三  
年  
御  
日  
柄  
子  
年

学校の武を継ぐ能く

歌留たるとりてあそび

一日乃今之存心也

一  
夜之存心也  
少  
少  
少

小月皆之様  
此

官之礼  
私可入御  
此

今書を正し交待す



字の如



三月 雛まつり

漸上巳 菖蒲例 季人形



庭前桃花軒端閑暇

九  
夕  
春  
夕  
夕  
夕  
夕  
夕  
夕  
夕  
夕  
夕

そとに書くと  
ふたりの

とてり  
離人  
形を  
とる

はるかなる花の香をよ

来りぬらんかきかへ

軒端の梅をよめる

あまの

御系をよめる

山あきしり 雨入り

乃々々々々

同

春季皇靈祭

畏宮中遠祖御靈後

豫約束修身物語

系  
之  
凡  
也  
今  
日  
之  
事  
也

よ

あしあかの

あしあかの



か  
か  
か  
か  
か  
か  
か

か

日  
か  
か  
か  
か  
か  
か

か

か

か

三上

中  
之  
人  
之  
錄  
之  
略  
あ  
ら

之  
之  
約  
東  
部  
の  
略

2の活物がろまよてそ

まうそをいぬりなあそ



ちろあろくし

東の白雲の例の  
友らとくらむわむ

子て 談話 乞おそよ  
不 習 何とて 以 踪

合 出 林 乞おそよ 交  
付 乞おそよ 乞おそよ

年月日 何子

何子様

あつ山妹 子様 への百中

山月 邪のりよ

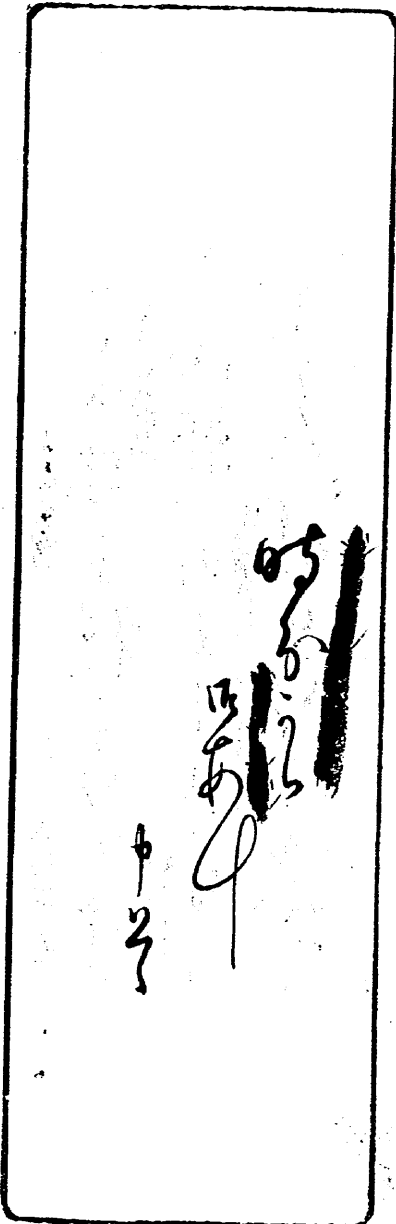
とらり 味とらり

K120.71-32.6

明治二十五年四月十七日一版印刷  
同 二十五年四月十八日一版發行  
同 二十六年九月二十日訂正二版印刷  
同 二十六年九月廿四日訂正二版發行

(明治三十六年) 文部省檢定済  
版權 所有

定價 二年上上 一冊三付 三年上上 一冊三付  
二年上上 金六錢 四年上上 金七錢



東京神田區猿樂町三丁目二番地  
編者 小野鏑之助

東京々橋區南傳馬町一丁目十二番地  
印刷者 兼 吉川 幸七

大阪市南區心齋橋南一丁目  
發行所 大 松村九兵衛

60.3.30  
酒井幸子氏 蔵入



小倉町子様